



小学校

体育科

全学年

エコロジカル・アプローチを取り入れた跳び箱運動！

「エコロジカル・アプローチ」とは



エコロジカル・アプローチとは、「人と環境の相互作用の中にスキルが存在する(植田2023)」という働きかけのことです。子どもの頃、縁石の少し高いところを自然と歩いたり、歩きたいと思ったりした経験はありませんか。それは、環境に作用されて、「少し高い所を落ちないように歩きたい!」という気持ちや動きが誘発されているからです。このように、人と環境の相互作用によって気持ちや動きを引き出されることが、エコロジカル・アプローチの考え方です。木製の跳び箱は、「腕や足が当たって痛い」と思う子どもがいます。そこで、木製ではない用具を活用することで、「これなら、やってみたい!」という思いと動きが引き出せるかもしれません。

箱型障害物



ラウンドフォーム型障害物



ウレタン製跳び箱



☆当たっても痛くなく、やってみたくなるような、いつもと違う形!

☆踏切板が、障害物となることも!

踏切板を取り除き、高い位置から着手できる土台を置く等、必要に応じた工夫も!



開脚跳びや台上前転の局面の動きを引き出す!



カエルジャンプ エリア



☆両手を着いて、お尻を高く上げる感覚づくり!

☆同じ動きでも、異なる用具を活用し、一人ひとりに合わせた「やってみたい!」を引き出す場の設定!



パンダ回り エリア



☆高い所から、台上で前転をして着地をする感覚づくり!

☆両手をマットの手前に着き、後頭部を着けて前転して、両足着地へ!



カンガルージャンプ エリア



☆両手をついて、両足で跳び乗る感覚づくり!

☆高さを変えることで、挑戦できる場の設定!

☆ステージ反対側からジャンプ!

準備に一工夫!

☆「準備カード」という運動する場の写真を、子どもたちに渡すことで設計図のような感覚で写真と同じ場を作る活動に!

☆準備の時間も、子ども同士の関わりの時間に!



この準備カードで準備してね!

※詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員 研究報告 (R7) をご覧ください。